

2021年度 EMCA通常総会（研修会・懇親会）

日時 2022年6月12日（日）10時00分～16時00分
場所 オンライン総会（ZOOM）

～ 次 第 ～

【第1部】 総会 （10:00～12:30）

1. 開会の辞・理事長あいさつ
2. 議題（議決事項）
 - 第1号議案 2021年度 事業報告及び決算報告
 - 第2号議案 2022年度 事業計画及び予算
 - 第3号議案 監事改選の件
3. EMCA 活動コンテスト表彰
4. 事務局からの連絡事項 <研修会のご案内>
5. 閉会の辞

【第2部】 研修会 （13:30～16:00）

1. EMCA総会研修
 - 研修「オンラインカウンセリングを学ぶ」
 - ーいま、求められるオンラインカウンセリングの実践へー
 -講師：中村光太先生

2021年度 事業報告

特定非営利活動法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

1 事業の成果

創設9年目を迎え、eMC資格認定試験を東京、愛知（名古屋）、宮城（仙台）、大阪で実施。2次試験は実技の総合力を図るため論述試験を引き続き実施した。教育事業についてはEMCAアカデミーとして各種研修やカウンセリングの実践機会など継続的な学習機会を設け、会員のスキルアップに向けた施策を実施した。EAP従業員支援プログラムの普及及び支援事業については、会員の日頃の活動の成果を発表する機会や企業内メンタルヘルス研修の実施、キャリアとメンタルの融合を目指すキャリア部会の展開などを実施した。情報提供事業については協会機関誌の発行の他、引き続き協会ホームページを活用した情報発信を進めた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
資格認定試験事業	EAPメンタルヘルスカウンセラーの技術レベルを認定する資格試験の実施。	<第17回試験> 7月25日、 8月21、22、25、 8月28、29日 9月5日 <第18回試験> 1月23日、 2月19、20、23、 2月26、27日 3月6日	東京 名古屋 仙台 大阪	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	7,053
EAPメンタルヘルス教育事業	EAPメンタルヘルスカウンセラー養成のためのカリキュラム開発及びその教育事業	通年	法人事務所	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	13,484
従業員支援プログラム(EAP)の普及・導入支援事業	企業、自治体等への従業員支援プログラム(EAP)の普及・導入支援事業。	通年	法人事務所	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	0
情報提供事業	協会ホームページの制作を通して、法人の活動状況やEAPに関する情報発信を実施。	通年	法人事務所	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	0

(2) その他の事業

実施しなかった。

2021年度通常総会 第1号議案資料②

【事業実施期間】

2021年4月1日 ～ 2022年3月31日

【会員数】※2022年3月31日現在

	会員数	(2021年度新規)
□個人正会員	746名	89名
□法人正会員	3法人 ※株式会社日本ライセンスバンク様 ※株式会社リカレント様 ※一般社団法人中小企業EAP普及推進協議会様	増減なし
□法人賛助会員	2法人 ※医療法人社団學風会様 ※特定非営利活動法人日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン様	増減なし
eMCカリキュラム認定機関	リカレントメンタルヘルススクール様	増減なし
※キャリア会員	1,771名	—

【事業の活動内容等】

(1) 資格認定試験事業

EAPメンタルヘルスカウンセラー（eMC）資格認定試験を2回実施しました。

第17回

実施日時 : 論述試験2021年7月25日、面接試験2021年8月21日・22日・25日・28日・29日、9月5日

実施場所 : アットビジネスセンター東京駅八重洲通り、アットビジネスセンター渋谷東口駅前、ビジョンセンター新宿、オフィスパーク名駅カンファレンスセンター、仙台駅前会議室 HUMOS5、アットビジネスセンターPREMIUM新大阪（貸会場による運営）

受験者数 : 131名

合格者数 : 110名（合格率83.9%）

第18回

実施日時 : 論述試験2022年1月23日、面接試験2022年2月19日・20日・23日・26日・27日、3月6日

実施場所 : ビジョンセンター西新宿、オフィスパーク名駅カンファレンスセンター、アットビジネスセンター池袋駅前別館、仙台駅前会議室 HUMOS5、アットビジネスセンターPREMIUM新大阪（貸会場による運営）

受験者数 : 145名

合格者数 : 118名（合格率81.3%）

※累計合格者数 1,271名

(2) EAPメンタルヘルス教育事業

1) EMC Aアカデミー (研修)

eMCのスキル養成を目的とした講座 (研修) を実施いたしました。のべ参加人数は、

- ・2021年4月25日 「倫理研修I(ZOOM)」 63名参加
- ・2021年10月23日 「倫理研修I(ZOOM)」 86名参加
- ・2021年6月19日・26日 「システムズ・アプローチ講座」 18名参加
- ・2021年8月21日・9月4日 「システムズ・アプローチ講座」 12名参加
- ・2021年12月4日・12月11日 「システムズ・アプローチ講座」 13名参加
- ・2022年1月22日・2月5日 「システムズ・アプローチ講座(ZOOM)」 40名参加
- ・2022年3月12日・3月26日 「システムズ・アプローチ講座(ZOOM+来校)」 9名参加
- ・2021年8月21日・28日 「共通要因アプローチ・カウンセリング講座」 13名参加
- ・2021年9月20日・23日 「共通要因アプローチ・カウンセリング講座」 13名参加
- ・2021年10月30日・11月6日 「共通要因アプローチ・カウンセリング講座」 15名参加
- ・2022年2月5日・12日 「共通要因アプローチ・カウンセリング講座」 16名参加
- ・2021年9月7日～10月12日 (全6回)
「認知行動療法-CBTのアセスメント・技法を学び実践に活用する」 16名参加
- ・2021年10月19日～11月12日 (全6回)
「認知行動療法-CBTのアセスメント・技法を学び実践に活用する」 15名参加
- ・2022年2月1日～3月8日 (全6回)
「認知行動療法-CBTのアセスメント・技法を学び実践に活用する(ZOOM)」 19名参加
- ・2021年7月17日・24日 「対人関係療法(IPT)に基づいたカウンセリング技法(ZOOM)」 16名参加
- ・2021年10月23日・24日 「クライシス・カウンセリング講座」 11名参加
- ・2021年11月6日・7日 「クライシス・カウンセリング講座」 12名参加
- ・2021年12月4日・12月11日 「交流分析基礎講座」 12名参加
- ・実習プログラム導入研修 N-FIT キャリアカレッジ日本橋 9名参加 (前年8名)
- ・実習プログラム導入研修 八幡メンタルクリニック 15名参加 (前年6名)

2) EMC Aアカデミー (実習)

eMCの実践機会増を目的としたカウンセリング・プラクティカムを実施いたしました。

- ・インターン生：実施 68名 (※前年 53名)
 - ・CL数：69名 (※前年 59名)
 - ・のべカウンセリング回数：インターン生によるカウンセリング 207回 (※前年 177回)
 - ・スーパービジョン回数：69回、のべ 137名参加、聴講 98名 (※前年 116名、聴講 93名)
- ※名古屋地区カウンセリング 12回実施 (※前年 18回)

3) スキルアップ研修

カウンセラーとしてのスキルアップを目的とした講座 (研修) を実施いたしました。

- ・のべ参加人数：315名 (昨年 94名)

「EAP講師の笹川先生&鈴木先生の現場で実際に対応した「なま」の事例を通して学ぶワークショップ」「最新ハラスメントの知識と対応を考える」「TA・ゲシュタルト療法ワークショップ」「セルフ・カウンセリング (認知と行動の変化)」「休職中社員との対応と復職支援&カウンセリングのロールプレイ体験学習」「トラウマインフォームドケア(TIC)の理解と実践」「おもてなし必須の語彙アップ・表現ブラッシュ・和力レベルアップ講座」等

(3) 従業員支援プログラム（EAP）の普及、導入支援事業

本事業については、企業（事業所）を対象にした活動が中心となり、メンタルヘルス対策に課題を持つ担当者に向けて必要な情報提供をするとともに、EMCA活動趣旨を周知、ご理解いただき、EMCAの会員加入を含めた関係構築をいたしました。結果、3法人の会員継続を実施することができました。

1) EMCA活動コンテスト 2021

- ・受賞4名

2) オフィシャル研修プログラム

- ・受賞1名

3) EMCAキャリア部会関連

- ・国家資格キャリアコンサルタント試験合格者向けセミナー 3回実施
- ・企業のゲストセミナー（2021年5月28日「TOPPAN印刷株式会社」）
- ・企業のゲストセミナー（2021年7月30日「日本キャリアカウンセリング学会」）
- ・企業のゲストセミナー（2022年3月25日「ディノス」）
- ・領域別勉強会&情報交換会 3回実施（独立起業、福祉など）

(4) 情報提供事業

- 1) EMCA機関誌（Cor-こる-）2021年7月（NO.13）、11月（NO.14）、2022年3月（NO.15）発刊は4月。協会ホームページにて、最新情報や活動実績などを随時更新の上、情報発信いたしました。

以上

2021年度 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会
(単位:円)

科目	金 額		
一般正味財産増減の部			
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取入会金	870,000		
正会員受取年会費	5,449,000	6,319,000	
2 受取寄付金等			
受取寄付金振替額(指定正味財産からの振替)	2,872,560		
支部設立金・支部運営金*	641,000	3,513,560	
3 事業収益			
受験料収入	7,053,750		
受講料収入	12,673,815		
カウンセリング収入	811,800	20,539,365	
4 その他収益			
雑収入(名刺作成サービス代等)	90,200		
受取利息(普通預金利息)	312	90,512	
経常収益計			30,462,437
II 経常費用			
1 事業費			
資格認定試験費(会場費用、運営スタッフ費用等)	6,110,304		
講師料(セミナー講師料、カウンセラー費用)	3,087,506		
会員管理業務費(総会費用等)	791,752		
研修事業費(会場費用等)	1,639,283		
会報誌費用(原稿制作費用、印刷代)	866,689		
受講料充当額(受取寄付金取り崩し)	2,872,560		
支部設立費*	300,000		
支部運営費*	341,000	16,009,094	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当(スタッフ給与)	4,960,004		
人件費計		4,960,004	
(2)その他経費			
印刷製本費(協会パンフレット、封筒等)	19,302		
旅費交通費(スタッフ通勤費用、移動交通費)	165,584		
広告宣伝費(広報活動、企画費用)	171,100		
消耗品費(事務用品購入)	38,048		
諸会費(国際EAP協会、新宿NPOネットワーク協議会)	70,000		
支払手数料(ドメイン管理料、振込手数料等)	294,230		
通信費(電話代、切手代等)	16,418		
雑費	12,000		
租税公課(預金利息に対する所得税等)	48		
その他経費計		786,730	
経常費用計			21,755,828
当期一般正味財産増減額			8,706,609
前期繰越一般正味財産増減額			15,262,138
次期繰越一般正味財産増減額			23,968,747
指定正味財産増減の部			
I 受取寄付金			0
II 一般正味財産への振替額			2,872,560
当期指定正味財産増減額			-2,872,560
前期繰越指定正味財産増減額			10,000,000
次期繰越指定正味財産増減額			7,127,440
当期正味財産増減額			5,834,049
前期繰越正味財産額			25,262,138
次期繰越正味財産額			31,096,187

2021年度 財産目録

2022年 3月31日現在

特定非営利活動法人
EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	2,019		
普通預金	31,889,878		
流 動 資 産 合 計		31,891,897	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産計			
投資その他の資産計	0		
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			31,891,897
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	725,743		
預り金	69,967		
流 動 負 債 合 計		795,710	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			795,710
正 味 財 産			31,096,187

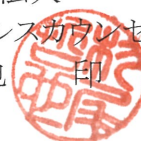
監査報告書

2022年 5月 28日

特定非営利活動法人
EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

理事長 松田 直之 殿

特定非営利活動法人
EAPメンタルヘルスカウンセリング協会
監事 杉尾 哲也 印



2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度における会計および業務の監査の結果について次のとおり報告致します。

監査意見

- 1 貸借対照表、収支計算書等、会計帳簿の記載と一致し、特定非営利活動法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- 3 理事の職務執行に関する不正の行為または法令、定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以 上

2022年度 事業計画

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

1 事業実施の方針

創設10年目を迎え、eMC資格認定試験は引き続き東京、愛知（名古屋）、宮城（仙台）、大阪で実施予定。2次試験では実技の総合力を図るための論述試験を実施。尚、第21回試験より学科試験を導入予定、より質の高いカウンセラー養成を目指し、その準備を進める。教育事業については引き続き各種研修やカウンセリングの実践機会と共に継続的な学習機会を設けるなど、会員のスキルアップに向けた施策を実施する予定。また、カウンセラー養成のためのカリキュラムについても専門家の知見をさらに反映した開発を進める予定。EAP従業員支援プログラムの普及及び支援事業については、企業内メンタルヘルス部門やキャリア部門など最前線にて支援する方々との連携も含め展開を予定。情報提供事業については引き続き協会機関誌の発行や協会ホームページを活用した情報発信を進めてゆく予定である。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額(千円)
資格認定試験事業	EAPメンタルヘルスカウンセラーの技術レベルを認定する資格試験を実施。	年2回実施	東京 名古屋 仙台 大阪	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	7,700
EAPメンタルヘルス教育事業	EAPメンタルヘルスカウンセラー養成のためのカリキュラム開発及びその教育事業。	通年	東京	10名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	12,900
従業員支援プログラム(EAP)の普及・導入支援事業	企業、自治体等への従業員支援プログラム(EAP)などの普及・導入支援事業。	通年	東京	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	0
情報提供事業	各種メディアを通じた、EAPメンタルヘルスカウンセラーや当法人の活動状況の提供やセミナーやイベントの開催などによる広報活動。	通年	東京	3名	首都圏及び主要都市圏内企業・事業所に所属する経営者・従業員一般 (不特定多数)	0

(補足)

- 2022年度 eMC 資格認定試験日 第19回論述7/24、面接8/20～9/4・第20回論述1/22、面接2/18～3/5
- EMCA アカデミー、カウンセリング・プラクティカム他

2021年度通常総会 第2号議案資料②

□2022年度の主な事業計画について

■EMCAアカデミー

<内容>

EAPカウンセラーとしての専門性の向上のためのトレーニングプログラムの実施。

2022年度は倫理研修・システムズアプローチ・CBT・IPT・共通要因アプローチ・交流分析基礎講座など実施予定。

また、遠隔地の会員様向けにオンラインでの講座も積極的に実施する予定。

収支予測	<収入>受講料	12,000千円
	<u><支出>会場費、教材費、人件費、運営費、受講料支援等</u>	<u>7,800千円</u>
	<収支>	4,200千円

■地域支援活動の展開

<内容>

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、EMCAの所在地である新宿区の新宿NPO協働推進センターをはじめとし、地域でメンタルヘルスケアの啓蒙のための市民講座を実施していく予定。

収支予測	<収入>受講料	50千円
	<u><支出>会場費、教材費、人件費、運営費等</u>	<u>50千円</u>
	<収支>	0千円

■キャリア部会

<内容>

EMCAのキャリア会員向けの支援スキル拡張をねらいとし、各種のトレーニングプログラムや新たに立ち上げた領域別勉強会・情報交換会を実施する。また、支援に資するネットワーク構築のためのEAPメンタルヘルスカウンセラーとキャリア会員の交流の場を提供していく予定。

収支予測	<収入>受講料	300千円
	<u><支出>会場費、教材費、人件費、運営費等</u>	<u>300千円</u>
	<収支>	0千円

■官公庁入札資格を取得。NPOとして参加すべき案件があれば、今後、入札していく
(今年度は予算計上しておりません)

2022年度 活動予算

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会
(単位:円)

科 目	金 額		
一般正味財産増減の部			
I 経常収益			
1 受取会費 *1			
受取入会金	900,000		
正会員受取会費	6,310,000	7,210,000	
2 受取寄付金等			
受取寄付金(指定正味財産からの振替)	3,000,000		
支部設立金・支部運営金 *2	673,500	3,673,500	
3 事業収益			
受験料収入 *3	7,700,000		
受講料収入	12,000,000		
カウンセリング収入	900,000	20,600,000	
4 その他収益			
雑収入	100,000		
受取利息	300	100,300	
経常収益計			31,583,800
II 経常費用			
1 事業費			
資格認定試験費	7,200,000		
講師料	3,000,000		
会員管理業務費	800,000		
研修事業費	1,800,000		
会報誌費用	1,000,000		
受講料充当額(受取寄付金取り崩し)	3,000,000		
システム開発費用	1,000,000		
支部設立基金 *2	300,000		
支部運営費 *2	373,500	18,473,500	
事業費計			18,473,500
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	6,000,000		
人件費計		6,000,000	
(2)その他経費			
印刷製本費	50,000		
旅費交通費	200,000		
広告宣伝費	200,000		
消耗品費	200,000		
諸会費	70,000		
支払手数料	300,000		
通信費	30,000		
雑費	50,000		
租税公課	50		
その他経費計		1,100,050	
管理費計			7,100,050
経常費用計			25,573,550
当期一般正味財産増減額			6,010,250
前期繰越一般正味財産増減額			23,968,747
次期繰越一般正味財産増減額			29,978,997
指定正味財産増減の部			
I 受取寄付金			0
II 一般正味財産への振替額			△ 3,000,000
当期指定正味財産増減額			△ 3,000,000
前期繰越指定正味財産増減額			7,127,440
次期繰越指定正味財産増減額			4,127,440
当期正味財産増減額			3,010,250
前期繰越正味財産額			31,096,187
次期繰越正味財産額			34,106,437

*1 2022年度新規入会者数見込 180名 入会金@5,000円×180=900,000円、会費@7,000円×180=1,260,000円

2022年度継続会員数見込 721名(うち1名一般会員) 会費@7,000円×720+10,000=5,050,000円

*2 設立基金300,000円(2期目) 運営費373,500円 (500円×747名)

*3 2022年度受験者数見込320名(うち再受験者25%) 試験料@27,500円×240=6,600,000円 @13,750円×80名=1,100,000円

科目	金額			前年 実績比
	2021年度予算	2021年度実績	2022年度予算	
一般正味財産増減の部				
I 経常収益				
1 受取会費				
受取入会金	930,000	870,000	900,000	103%
正会員受取会費	5,771,000	5,449,000	6,310,000	116%
2 受取寄付金等				
受取寄付金(指定正味財産からの振替)	1,410,000	2,872,560	3,000,000	104%
支部設立金・支部運営金	619,000	641,000	673,500	105%
3 事業収益				
受験料収入	8,181,250	7,053,750	7,700,000	109%
受講料収入(EAPメンタルヘルス教育事業)	6,690,000	12,673,815	12,000,000	95%
カウンセリング収入	1,200,000	811,800	900,000	111%
4 その他収益				
雑収入	150,000	90,200	100,000	111%
受取利息	200	312	300	96%
経常収益計	24,951,450	30,462,437	31,583,800	104%
II 経常費用				
1 事業費				
資格認定試験費	6,000,000	6,110,304	7,200,000	118%
講師料	3,000,000	3,087,506	3,000,000	97%
会員管理業務費	500,000	791,752	800,000	101%
研修事業費	1,000,000	1,639,283	1,800,000	110%
会報誌費用	1,000,000	866,689	1,000,000	115%
受講料充当額(受取寄付金取り崩し)	1,410,000	2,872,560	3,000,000	104%
システム開発費用	0	0	1,000,000	#DIV/0!
支部設立費	300,000	300,000	300,000	100%
支部運営費(747名×500円)	319,000	341,000	373,500	110%
事業費計	13,529,000	16,009,094	18,473,500	115%
2 管理費				
(1)人件費				
給料手当	6,000,000	4,960,004	6,000,000	121%
(2)その他経費				
印刷製本費	50,000	19,302	50,000	259%
旅費交通費	150,000	165,584	200,000	121%
広告宣伝費	300,000	171,100	200,000	117%
消耗品費	100,000	38,048	200,000	526%
諸会費	70,000	70,000	70,000	100%
支払手数料	100,000	294,230	300,000	102%
通信費	30,000	16,418	30,000	183%
雑費	50,000	12,000	50,000	417%
租税公課	50	48	50	104%
管理費計	6,850,050	5,746,734	7,100,050	124%
経常費用計	20,379,050	21,755,828	25,573,550	118%
当期一般正味財産増減額	4,572,400	8,706,609	6,010,250	69%
前期繰越一般正味財産増減額	15,262,138	15,262,138	23,968,747	157%
次期繰越一般正味財産増減額	19,834,538	23,968,747	29,978,997	125%
指定正味財産増減の部				
I 受取寄付金	0	0	0	#DIV/0!
II 一般正味財産への振替額	△ 1,410,000	△ 2,872,560	△ 3,000,000	104%
当期指定正味財産増減額	△ 1,410,000	△ 2,872,560	△ 3,000,000	104%
前期繰越指定正味財産増減額	10,000,000	10,000,000	7,127,440	71%
次期繰越指定正味財産増減額	8,590,000	7,127,440	4,127,440	58%
次期繰越正味財産額	28,424,538	31,096,187	34,106,437	110%

2021年度通常総会 第3号議案資料

改選の手続き

役員任期満了に伴い、定款第14条第1項に基づき、新たに、監事を選任する必要がある。

監事候補

役職名	氏名	就任期間	新任	留任
監事	杉尾 哲也	2022年7月1日 ～ 2024年6月30日		○

※（ご参考）理事選任および就任について

役員任期満了に伴い、定款第14条第1項に基づき、2022年6月12日の理事会において理事を選任予定。

（参考：理事は理事会において、監事は総会において選任する）

新役員名簿

役職名	氏名	就任期間	新任	留任
理事長	松田 直之	2022年7月1日 ～ 2024年6月30日		○
理事	嶋田 茂久	2022年7月1日 ～ 2024年6月30日		○
理事	石川 裕理	2022年7月1日 ～ 2024年6月30日		○
理事	秋谷 裕二	2022年7月1日 ～ 2024年6月30日		○